

平成28年度 行政評価事業別シート

実計対象		■	評価対象	■	新規	□	完了事業	□	ゼロ予算事業	□	担当者	荒井
全体計画						経費区分	実施計画事業費		内線		3425	
事務事業名		4183 商業振興事業										
所 属		150300 産業振興部・商業観光課										
施 策		05032500 商業の活性化										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	070102 商工費・商工費・商工業振興費										
	事業	030000 商業振興事業										
事業目的						事業概要・効果						
商業者・商業団体等が実施する事業に対し支援を行うとともに、創業希望者への創業支援を行い、商業の振興と空き店舗の解消及び市街地の活性化を図る。						商業動向調査や補助事業要望調査等を行い、商業者の意向等の情報収集を行うとともに、商業者・商業団体等が行う事業やイベント等への支援。 空き店舗等の活用補助による創業支援。 また、商店街街路灯のLED化に対する補助及び電気料補助等により商店街組織の活動を支援する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
街路灯設置及びLED化事業補助 3,740千円 街路灯電気料補助事業 602千円 わざわざ店等開設支援事業 11,776千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,312千円	街路灯設置及びLED化事業補助 1,500千円 街路灯電気料補助事業 800千円 わざわざ店等開設支援事業（空き店舗を活用した出店に対する補助）10,500千円 商業団体等が行う事業等に対する補助 6,500千円
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指 標 名						
算 式						
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標	5	5	5	5	7
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指 標 名						
算 式						
年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標					
	実 績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		33,753	22,653
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	9,148	0
一般財源		24,605	22,653
人員数 (人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	10,091.2	10,091.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	10,091.2	10,091.2
市民一人当たりの経費		0.8	0.6
総額		43,844.2	32,744.2

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	214	消耗品160、燃料費54
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	24,536	補助金24,536
その他	9,003	旅費42 郵便 1 借上料 100 貸付金 8,860

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	260	消耗品180、燃料費80
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	22,118	補助金22,118
その他	275	旅費、役務費、使用料及び賃借料、公課費

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか	高い
評価コメント	商業振興施策の柱である	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	民間への補助金等が大半のため、検証が必要。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	変わらない
評価コメント	平成28年度より一部制度改正を行った。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

平成27年度に「わざわざ店等開設支援事業」の見直しを行い、補助率等を変更した。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
商業振興施策の柱であるため、引き続き見直しを行いながら実施する。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
個性的で魅力ある店が集まり、歩いて楽しいまちとしていくため、魅力的で個性的な店の出店や集客イベント、また、商店街の環境改善のためのインフラ整備に対し支援を行う。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	